

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		市民センター費 [地区集会所管理事業]										
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	13	市民センター費	事業番号	③清水地区集会所管理費 ④湖畔地区集会所管理費 ⑥芋窪地区集会所管理費 ⑨玉川上水地区集会所管理費 ⑪仲原地区集会所管理費	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	地域振興				課				市民センター	係	課長名	石川 正憲
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	5 - 3		
【施策名】 共に支えあう地域社会の確立									総合計画書 (ページ)	110		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	東大和市民					市の人口(4月1日現在)						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
利用者が安全に利用できる。					①延べ利用件数/利用可能コマ数 ②対前年度に対する利用率							
→												
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
フローリング形式の集会所、和室を備えた単独の集会所の管理運営(玉川上水は集会所のみ、駐車場も無)。地区集会所5施設(清水・湖畔・芋窪・玉川上水・仲原)の貸出及び維持管理。市民の学習、集会等の場を提供している。貸出区分は午前・午後・夜間の3区分。シルバー人材センターに施設管理委託を行っている。					①集会所を利用した延べ人数							
→												
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337						
	成果指標	②の数値	①コマ ②%	①4,514/9,693 ②約99	①4,570/9,693 ②約100	①4,175/8,991 ②約98						
	目 標	②の目標値	%	100	100	100						
	目標値設定の考え方 前年度を基準とした利用率											
活動指標	③の数値	人	①46,480	①45,568	①40,319							
3 経費	事業費(実績)		円	21,396,634	22,492,467	23,432,115	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	21,379,294	22,471,987	23,405,015						
		特定財源	円	17,340	20,480	27,100						
		(うち受益者負担)	円	17,340	20,480	27,100						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.3						
		所要人数(再任用)	人	1.5	1.5	1.7						
		職員人件費(再任用以外)	円	4,126,500	4,122,000	2,493,000						
職員人件費(再任用)	円	4,461,000	4,528,500	5,298,400								
事業費+人件費		円	29,984,134	31,142,967	31,223,515							
4 環境変化等	(1) 開始年度 S61 年度											
	(2) 環境の変化											
地域の集会施設として開所したが、集会以外の利用が増え、それに伴い他の地域からのグループ利用が目立ってきている。 新型コロナウイルス感染症の影響により、今後は利用人数の制限等をせざるを得ない。												

事業名称	市民センター費 [地区集会所管理事業]			
担当部署・課長名	地域振興	課	市民センター	係 課長名 石川 正憲

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 市民センターと同様に、令和元年第4回定例会における一般質問で、公共施設の有料化が検討されていることに対する質問があった。 一部の施設で、本来の利用時間前や夜間の利用時間を過ぎた深夜まで利用者がいるとの情報が寄せられている。 団体同士で利用を希望する日が重なってしまった場合、話し合い等で調整を図っていただいているが、話し合いにに応じていただけない団体があるとの相談があった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑦		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 施設の老朽化に伴い、空調機器等の設備故障が増えている。建物本体の内外装の経年劣化による損傷もあるため、大規模な改修、修繕が必要である。予防修繕が行えなかったため、台風による屋根損壊が発生した。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 1施設で空調機の更新を行い、台風で屋根が損壊した施設は修繕に伴い、屋根全体の防錆塗装を実施した。 また、老朽化した机を一部更新した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 公共施設包括管理委託による施設点検結果に基づき、早い段階で修繕計画を策定し、必要な施設は大規模修繕等を実施する必要がある。			
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 共に支えあう地域社会の確立 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 公共施設等マネジメント課で策定した「公共施設等総合管理計画」に沿って順次、長寿命化計画又は長期修繕計画を策定し、大規模修繕、改修を考えたい。			
9 今後の方向性	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 全体的な公共施設の配置計画の中で施設の効率的な配置を検討することになっているが、集会所は建物の規模が小さいことから、優先順位が低くなることが予想される。			